



築地工芸会会長 大賀 勉

三年目にあたって

日頃、築地工芸会の活動に皆様のご支援、ご協力有難うございます。

昨年から続くコロナ禍により皆様の毎日の生活やお仕事では、様々な影響や制約によって何かと大変な状況が続いていると思われます。また母校でも教育活動、とりわけ学校行事に大きな影響がでており、今年度も引き続き工芸祭、卒展が中止となりました。大変残念な思いです。また、それらの対応を余儀なくされている在校生の皆さん、教職員の皆様のご苦勞を十分察します。当たり前が当たり前でなくなっ

こうげい

誠実 元気
信愛 規律

てしまったこのような時期こそ、情報収集と共有化、対応力と機動力、そして人との絆が大切なことだとつくづく思う次第です。この難局、お互いに力を出し合って乗り切っていきたいと思います。築地工芸会もこのような時こそ母校のお役に立てることがあれば最大限の力を発揮していきたいと考えております。

さて、本同窓会も残念ながら活動自粛が続いていますが、小規模での理事会開催やメールなどを活用し、いくつかの取り組みを行ってきましたので進捗状況をご報告させていただきます。

① 一般財団法人築地工芸会工芸基金の役員、定款改定について

当財団の工芸基金は工芸祭や卒展、図書購入や奨学金等々、学校活動を幅広く支援しています。我々の先輩諸氏が残してくれた財産で在校生の学業支援が出来ることは、在校生にとって恵まれた環境にあると思います。一方、定款に定められた運営が的確でないとの行政指導がありました。昨年度からの変化も見受けられます。昨年度から情報共有化と問題点を整理している段階ですが、先ずは昨年8月に理事、評

議員など組織を確認し、変更届の提出を完了しました。次の段階としては、組織や運営をシンプルにした的確な運営が行われるような定款改定の準備を令和4年度に向けて進めております。

② 広報委員会の開催

母校に愛着を感じつつも、残念ながら築地工芸会の会員数は伸び悩んでいるのが現状です。人間関係も希薄になっていくのは世の中全般的な流れかなと受け止める部分もあります。しかしながら多方面で活躍されてきた諸先輩、現在も活躍している同窓生の方々はきっと在校生のお役に立つこともあるだろうと確信しております。私たちは過去を思い出すだけの同窓会にしたいと思いません。工芸を愛し、いつまでも工芸と関わりを持っていきたい、そして母校の発展のために出来ることはないだろうかと思っております。今年度はその様な思いで若手の理事の方々にも加わっていただき広報委員会を設置しました。現在、紙媒体として広報誌の編集方針や企画の検討、ホームページの活用方法と企画出し、そして同窓会を活性化するためのTwitter開設をしました。またスタート段階ですが、築地工芸会の活動を現在在校生やPTAの皆さん、同窓生の方々にもより知っていただくこと、参加していただくことで、活動の充実化、組織の活性化を図っていききたいと思います。今後とも宜しくお願いします。

「投稿を歓迎します。」

*皆様の個展・展覧会出品・受賞、新聞で紹介された等、ご活躍の様子をぜひお知らせ下さい。写真、案内状等もできるだけご提供下さい。

*クラス会の様子もお知らせ下さい。

郵送先・築地工芸会（工芸高校の住所）
メール送付先：taquya@nifty.com

プラスチック
金型製作

真空成型型
プレス抜型

圧空成型型
トムソン抜型

企画
デザイン

— 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V-MOLD

バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11
tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559
埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5
tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

—詳しくはホームページで—
<http://www.vmold.co.jp/>
e-mail
caduser@vmold.co.jp

岡 田 里 美 (平1・I卒) 築地工芸会 副会長	磯 野 祥 (平1・A卒) 築地工芸会 副会長	五反田 稔 (昭35・M卒) 中京工芸会 会長	丸 山 士 郎 (昭43・A卒) 関西工芸会 会長	大 賀 勉 (昭45・P卒) 築地工芸会 会長
細 江 邦 雄 (昭41・M卒) 築地工芸会 監事 (有)ステーション・エム 代表取締役	 撮影・神山隆夫 (昭43・A卒)		梶 広 幸 (昭44・D卒) 築地工芸会 副会長	佐々木 慎 一 (昭48・P卒) 築地工芸会 副会長
中 村 輝 雄 (昭38・P卒) 築地工芸会 理事 米・欧特許取得ノート発売 (株)中村印刷所 代表取締役			桜 井 洋 一 (昭43・F卒) 築地工芸会 理事 (株)スパイク 代表取締役	坂 卷 章 雄 (昭55・A卒) 築地工芸会 理事 (有)坂巻工芸社 代表取締役
荒 井 拓 哉 (昭35・D卒) 築地工芸会 理事	神 山 隆 夫 (昭43・A卒) 築地工芸会 理事	中 山 清 (昭33・M卒) 築地工芸会 理事	駒 村 武 夫 (昭40・D卒) (株)ソフケン 代表取締役	茂 木 益 雄 (昭30・P卒) (株)フォレスト 会長

開発力・提案力・デザイン力を
高めてくれる若者の参加を
求めています

sofken.co.jp

レオナルド・ダ・ヴィンチ工房をめざして 医療器の開発に取り組んでいます。

SOFKEN

「人のキモチ」をモノに、カタチに

株式会社 ソフケン



I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064
東京都千代田区猿樂町2-8-16
平田ビル8階

電話 03-5577-3025
FAX 03-5577-3027
Email nakayama@ifpat.gr.jp

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

昨年7月17日以降、本年1月30日まで、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

萬澤佐多子、松田健、宇都木俊徳、米山彰二、下山田信一郎、関根伸司、山崎邦男、渡辺拓也、若松延男、稲垣雄三、佐野一義、中代源次郎、時田桂代、松原宏二、上原伊織、宮川武、萬羽進、大洞健史、菊地道夫、長澤作夫、大槻勉、小宮茂、井上文雄、橘正春、石原義久、中村輝雄、松下美知也、中山和江、高橋佳久、松本七五三吉、大滝史博、鈴木正、池田正弘、丸山士郎、葛西剛、松富壽嗣、石井あづみ、室田満男、中田実、篠宮秀雄、柴田好雄、宮本忠昌、馬場和夫、伊東渉、大西峻人、西多玲奈、鈴木康雄、榎萌子、齋藤恒平、齋藤彩樹、永野間輝久、片岡良亮、杉原由美子、津布久実佳、斉藤太郎、山口博幸、柿坪英志郎、今井定義、前田竹明、関口信幸、能登崇行、松田桃紅、野田真知子、中谷明彦、平田龍也、原和男、関根幹夫、細江邦雄、伊崎憲利、佐々木勉、金武司、鹿野文浩、小林威士、安永麻衣子、田原造、岩井輝興、渡辺貴夫、鎌田隆、工藤精一、宇都木邦明、松井真矢、小川政之、大久保健二、久保田晃、久保田真奈美、竹内大生、神谷諒、松田航毅、山田太志、間中辰男、秦範章、戸矢雅道、佐味貫義、池田博、大井三喜男、奈良場友彰、

種子田萌夏、佐藤隼人、山田喜守、福島儀夫、森下理恵、久世佳史、佐藤めぐみ、石橋弓子、国本好子、佐藤貴志、長谷川栄、神山隆夫
2020年度累計
六七一、六〇〇円

◆2020年度第1回理事会報告

2020年10月7日、母校会議室において2020年度第1回理事会が開催されました。今回は新型コロナウイルス緊急事態宣言の中での開催のため、出席人数を通常の理事会の半数に減らして開催しました。

議事に先立ち次の新理事就任が提案され承認されました。

M科 増田 美智 (平成20年卒)
M科 香取 輝 (平成27年卒)

●議事

1. 工芸基金令和元年度事業報告と今年度事業計画について

大賀会長から令和元年度事業報告と今年度事業計画について説明があった。また、工芸基金の組織の改善策について説明があった。

2. 築地工芸会の活動の活性化について

(1) ホームページの現状と今後の運営
半田理事作成の「都立工芸同窓会WEBサイトの報告」が説明され、今後のWEBサイト活性化の提案がされた。

・メールマガジンの発行
・Instagram開設 発信
・SNSの活動

・現工芸生との交流
・都立工芸高校の歴史的な内容の発信(高校受験生への参考)
(2) 会報「こうげい」の刷新を図る編集委員の新設が提案された。
(3) Twitter開設の提案

増田理事からTwitter開設の提案があった。

SNSは基本的には「投稿」するだけで情報発信が可能であり、今回の提案は短文投稿型であるTwitterの利用を前提としている。

討議の結果、ホームページ、Twitter、会報誌の3つを並行して発信することにより、都立工芸高校同窓会(築地工芸会)の情報交換と活動の活性化を進めることとなった。

●3つの情報発信の相乗効果を考え、新たに「広報委員会」を設け活動を進めることとなった。

●都立工芸高校同窓会(築地工芸会)公式ツイッターアカウント開設のお知らせ

同窓会公式ツイッターアカウント(@tsukijikogeikai)を昨年12月に開設しました。理事会報告にてお知らせの通り、同窓会では広報委員会を新たに設置し、都立工芸高校同窓会(築地工芸会)の認知度向上を目指しています。ツイッター開設は広報活動の第一歩です。工芸高校もツイッター公式アカウントを運営しており、相互発展を期待しています。同窓会のツイッターでは主に同窓会の状況や、卒業生の活動を発信しています。その他、ツイッターを通じた大阪市立工芸高校同窓会との交流にも取り組んでいます。

都立工芸高校同窓会(築地工芸会)の新たな窓口となるべく、日々新しい企画を思案しています。同窓生の皆様には是非フォローしていただければと思います。



都立工芸高校同窓会(築地工芸会)公式アカウント

52件のツイート



同窓会
1907

プロフィールを編集

都立工芸高校同窓会(築地工芸会)公式アカウント

@tsukijikogeikai

都立工芸高校同窓会の公式アカウントです! 同窓会の活動内容をツイートしていきます! 頂いたリプライには出来るだけ回答したいと思います。よろしくお願ひします。

個人アカウントは個人のツイート見ないためにフォロー返ししません。在校生・卒業生からの告知、拡散依頼はお気軽にどうぞ。

自己紹介を翻訳

◎ 東京都文京区本郷1-3-9 ☎ kogeioab.com

📅 2020年12月からTwitterを利用しています

7 フォロー中 50 フォロワー

支部だより

●中京工芸二人節分会だより

恒例なら役員会も兼ねた数人の節分会を五反田会長（S35M卒）と岩佐副会長（S40D卒）で開催して頂いた。長年総会の会場としていた店「大森」が看板を降ろすと云う。無症状の可能性も否定できない私は、お二人にお任せした。女将を独占し岩手のお酒（非売品）の差し入れと美味しい料理に舌鼓を打ち閉店への経緯など店内もご案内頂きながら堪能なさったとの事。創業74年の名古屋でも有数の料亭大森の歴史は4月に発刊予定の女将の自叙伝を待ちたい。実は初回の節分会と名付けた遅い新年会の案内原稿が私の机の奥から出てきた。五反田会長に作って頂いた詳細な年表と照らし合わせて女将発案コスプレ年表あるならば掘り



2021二人節分会

下げたいものだ。閉店への残念メールも沢山頂き、後発の鰻「しら河」の便利な立地条件も添えた。存続を祈りたい。会報が皆様のお手元に届く頃にはワクチン接種が始まっているはず！明るい兆しが見え総会開催の判断材料も増えるはず！案内状をお届け出来るのを楽しみにしている。原稿投稿前の下山田名誉会長（S23M卒）へ恒例の電話挨拶。「おう！おう！」いつものお声に安心。岩佐副会長の二人節分会記録の再編集です。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

中京工芸会事務局

井上京子（旧今泉S50F卒）

●昨年の『関西工芸会の集い』中止について

関西二府四県に在住する二十代～九十代までの工芸高校同窓生約200名が登録されており、関西工芸会は、毎年11月に『関西工芸会の集い』を開催して参りました。しかし昨年第60回目となる集いは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い発足以来初めての中止とさせて頂きました。

毎年案内を、9月を目処に全会員様に送付して参りましたが、本来ならば中止の旨も含めて会員様にお伝えしなくてはならないところ昨年は案内を出せず申し訳ありませんでした。本年の開催に関しても今の時点では予測が出来ません。

ジュエリー職人である38歳の私は、このコロナ禍だからこそ時間を割け約1年をかけダイヤのネックレスを制作しました。A科入学時から20年以上愛用している工具も使い、このネックレスが『未来のアンティーク』となる事を願い、現在から未来まで沢山の人がコロナに負けない元気で幸せな笑顔になつて頂ける作品を完成させました！在校生や卒業された皆様がいつの日か関西に来られる事があれば関西工芸会という存在があることを是非思い出して頂けたら幸いです。その際は学校や築地工芸会に気兼ねなく御連絡下さい！

様々な分野で活躍され引退された先輩から、現在第一線で活躍されている先輩、世代の垣根を越え皆同じ工芸生として愉快に集える会を今後も開催して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

関西工芸会事務局 松田 健

訃報

前回の会報176号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。

（一）内は逝去された日です。

牧田 良一氏 旧A職員（R3・1・19）
日比 孝氏 昭13・M卒（R3・1・31）
天野 昭二氏 昭20・M卒

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

技術資料の制作

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション・エム

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

岩間 汎正氏	昭30・M卒（R2・9・7）
坂内 好夫氏	昭31・A卒（R1・10・20）
米田 武弘氏	昭34・A卒（R2・5・31）
小島 英義氏	昭35・A卒（R2・12・10）
浅岡 忠彦氏	昭36・A卒（R2・9・5）
本杉麻紗史氏	昭36・P卒（R2・10・12）
日野 重堅氏	昭40・M卒（R2・11・9）
木村 明氏	昭42・D卒（R2・1・5）
横倉 寛氏	昭44・A卒（R3・1・1）
次呂久 進氏	昭49・M卒（R2・1・26）
宇田川信枝氏	平12・M卒（R2・1・1）

110年を超える歩み ——もっと知りたい都立工芸の歴史——

第1回

伊東久江（昭和60年 F卒）
増田美智（平成20年 M卒）

私たちの母校、都立工芸高等学校は1907年に創立され、その歩みは、110年を超えています。

工芸高校同窓会（築地工芸会）では工芸高校の歴史について調べる活動も行っています。

工芸高校の創立は当時の東京高等工業学校（現東京工業大学）の初代校長であった手島精一氏の「工業教育はようやく始まったが『工芸教育』は未だ学校が無く、まず都市に設置すべき」という主張を、新1万円札の肖像やNHKの大河ドラマで今、話題の渋沢栄一氏が後押しして創立されたのです。渋沢栄一氏と工芸高校の関りについては次回以降、ご紹介する予定です。

今後、工芸高校の歩みから、興味深い内容をご紹介します。

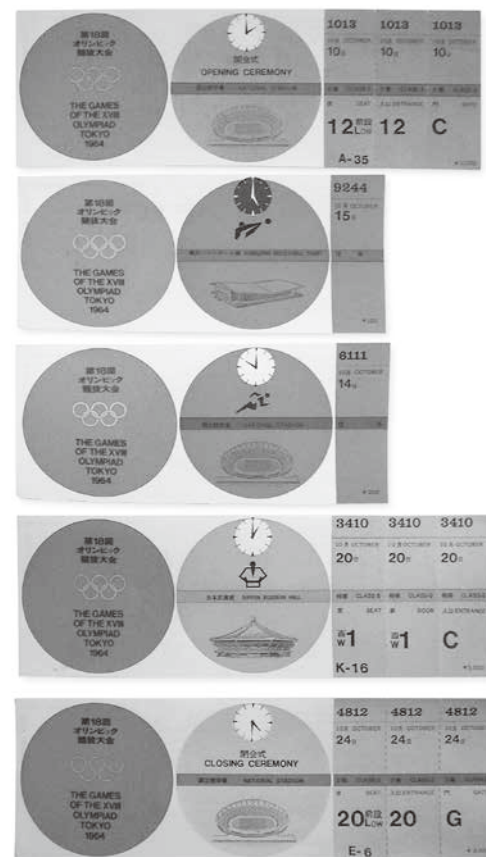
今回は1964年に開催された「東京オリンピック」に関連してご紹介します。

原弘氏（大正10年・P卒）と「東京オリンピック」

東京オリンピック組織委員会のデザイン懇談会の委員だった原弘氏は、書体の統一および広報を担当しました。公式招待状、賞状、公式広報、標識、



原弘氏デザインの東京オリンピック賞状（ディプロマ）



原弘氏デザインの東京オリンピック入場券

入場券など重要な制作を行いました。原弘氏の活躍については、記念誌「都立工芸100年の歩み」に詳しく掲載されています。その中から昭和5年P卒の祐乗坊宣明さん（当時、多摩美術大学専任教授）の執筆された記事をご紹介します。

原弘…印刷と写真に根付いた日本知性派の先覚

原弘にはデザインの教育者と制作者とのふたつの顔がある。デザイナーが教育の現場と関りを持つのは珍しいことではないが、かれの場合は教育者としてのスタートが先で、その制作活動が目玉されるのは、かなりあとになってからのことである。

時代環境のちがいがいもあつたろうが、かれの業績を考える上で、これは大事なことのようと思われる。1921（大正10）年に東京府立工芸学校製版印刷科（科長…宮下孝雄）を第一期生

として卒業。母校に残ったかれは、以降20年にわたり教育者として後輩の指導にあたっている。当時グラフィックデザインということばはなかったが、印刷とデザインの関係に着目、印刷美術としての造型性や機械性を追求する海外の新しい動向に、深い関心をよせていた。そうしたかれの先見性と地道な努力が、やがて後年のみごとな開花をみせるのである。もちろんその間にも記録すべき作品を残している。1930（昭和5）年には指名コンペによる新装花王石鹸のパッケージデザインを、また1937（昭和12）年にはパリの万国博日本館にわが国で最初の写真壁画を構成するなど、ユニークな活動がみられる。1932（昭和7）年

日本工房設立に参加したあと、1934（昭和9）年には木村伊兵衛らと中央工房設立に加わり、前記の写真壁画をはじめポスター、その他の作品を発表

表、学校をやめた1941（昭和16）年から終戦時まで、東方社美術部長として海外向け広報刊行物『FRONT』のエディトリアルデザインを担当している。

戦後かれが最も意欲的に取り組んだ仕事にブックデザインがある。装幀という仕事は表紙やジャケットなどの、単なる外装デザインに限られていたのを、かれはトータルな装本計画としてとらえ、それを著書に出版界に定着させた功績は大きい。（中略）

1961（昭和36）年、竹尾洋紙店の『紙のデザイン』で毎日デザイン賞を受賞しているが、これも「印刷で色をつけるより、紙に色をつけたほうがよい」という、装本と素材の関係を重視するかれの持論から生まれた成果である。（以下略）

▲1948年、アイデア別冊『今世紀の偉大な30人のデザイナーたち』より抜粋▼

● 校友の活躍

◎ 出品

第67回日本伝統工芸展

日本橋三越本店 本館7階催物会場
国内最大規模の公募展、第67回日本
伝統工芸展において次の4名の校友が
入賞・入選されました。

・染織

松原 伸生氏（昭和59・D卒）

長板中形麻地着尺「蒲縞萩文」

松原伸生氏の作品、長板中形麻地着尺「蒲縞萩文」は、「日本工芸会保持者賞」を受賞しました。松原さんは受賞の喜びと受賞作品について次のように語りました。

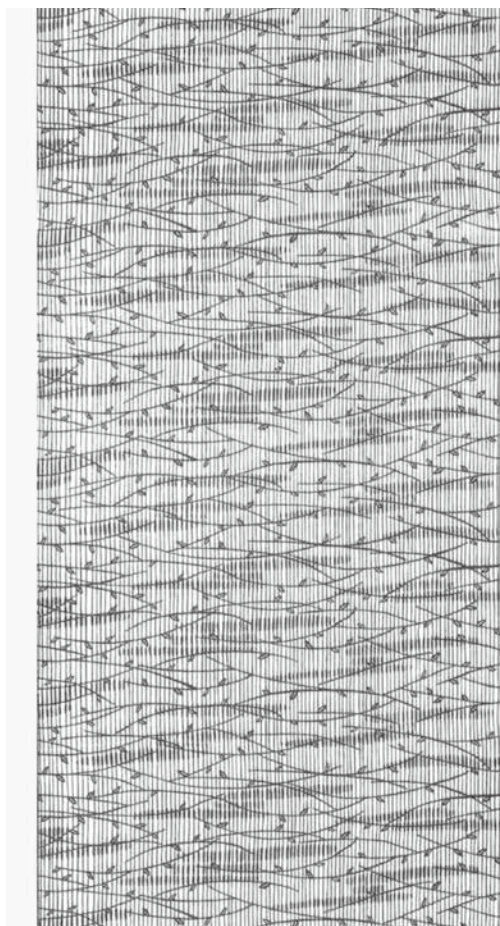
「江戸のころより伝わる浴衣染めの古称でもある、『長板中形』の技法による着尺です。伊勢型紙のなかでも、

「突き彫り」からなる染型紙は、江戸小紋よりも長板中形に向くものが多いです。今回は薄地の麻布を用いて、中形の醍醐味でもある白場を、存分に活かした作品に仕上げたいと挑戦してみました。表裏両面から柄を合わせて置かれた防染糊は、藍甕への浸染の際には水を吸わせて、かなりの重さになるため気の抜けない作業となりますが、完全に糊を洗い落として、藍と白のくっきりとしたコントラストが現れたときには、何とも言えない満足感があります。

このたび計らずも優秀賞を授かったことは、その思いを増幅させて余りあるものになりました。

この道に入って35年の月日が経ちますが、今日までお世話になった大勢の方々にご心より感謝申し上げます。

松原 伸生



松原伸生さんの作品 長板中形麻地着尺「蒲縞萩文」

・金工

桂 盛仁氏（昭和39・A卒）

人間国宝

雀 金具



桂盛仁さんの作品「雀 金具」

・木竹工

林 哲三氏（昭和37・F卒）

杉砂磨拭漆平卓



林哲三さんの作品「杉砂磨拭漆平卓」

・木竹工

須田 賢司氏（昭和48・F卒）

人間国宝

桐造短冊箱「桐華瑞雲」



須田賢司さんの作品 桐造短冊箱「桐華瑞雲」



内部

◎出品

特別展 工藝2020

自然と美のかたち

上野 東京国立博物館 表慶館

「日本が世界に発信する芸術文化を牽引する現代の工芸を一堂に会する本展」、「自由な感性によって多彩な芸術表現を発揮した優れた近年の工芸作品」と謳った、特別展 工藝2020が東京国立博物館 表慶館で開催されました。

その展覧会において、4名の校友の工芸作品が展示されました。

第1章「金は永遠に光り輝き、銀は高貴さに輝く」

嘩

田中 照一氏（昭和39・A卒）

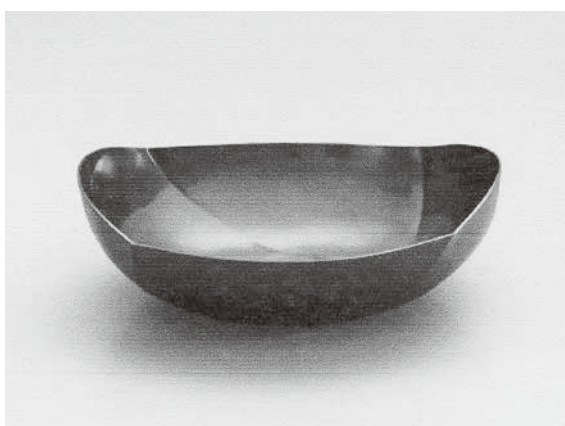


田中照一さんの作品「嘩」

第2章「黒はすべての色を内に吸収し、白はすべての光を撥する」

鍛籠銀盛器

田口 壽恒氏（昭和34・A卒）



田口壽恒さんの作品「鍛籠銀盛器」

宙の響

春山 文典氏（昭和39・F卒）



春山文典さんの作品「宙の響」

第4章「水の青は時空を超え、樹々と山々の緑は生命を息吹く」

櫛拭漆嵌装箱「銀漢」

須田 賢司氏（昭和48・F卒）



須田賢司さんの作品「櫛拭漆嵌装箱「銀漢」

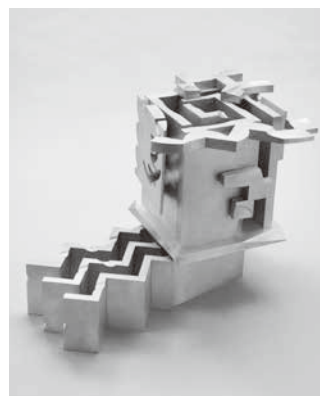


改組 新 第7回日展

六本木 国立新美術館

春山 文典氏（昭和39・F卒）

「スパイラル 花」



春山文典さんの作品「スパイラル 花」

田中 照一氏（昭和39・A卒）

「明けの揺らぎ」



田中照一さんの作品「明けの揺らぎ」

尾澤 勇氏（昭和57・A卒）

「薫風―祈り―」



尾澤 勇さんの作品「薫風―祈り―」

● 校友の活躍

「ものづくり匠の技の祭典2020」 小林重行さん（昭和59・F卒）の活躍

昭和59年にF科（現インテリア科）を卒業した小林重行さんは現在、東京都椅子張り技能士会の会長として活躍されています。

2020年11月3日・4日に開催された東京都主催の「ものづくり匠の技の祭典2020」に参加されましたので、そのイベントの紹介や小林さんの椅子張りの技術、工芸時代の思い出について語っていただきました。



「ものづくり匠の技の祭典2020」の様子

「ものづくり匠の技の祭典2020」について

「ものづくり匠の技の祭典」は東京都主催のイベントで、僕の所属している、東京都椅子張り技能士会のメンバーとして参加しています。

2015年から始まり昨年で5回目を終えました。いろいろな方のものづくりを披露し、体験していただけるイベントで、今年も12月に開催予定となっています。

椅子張り技能について

椅子張り技能とは、レザーやファブリックを張り仕上げる技能ですが、意匠をこらしたり座り心地を作る、人

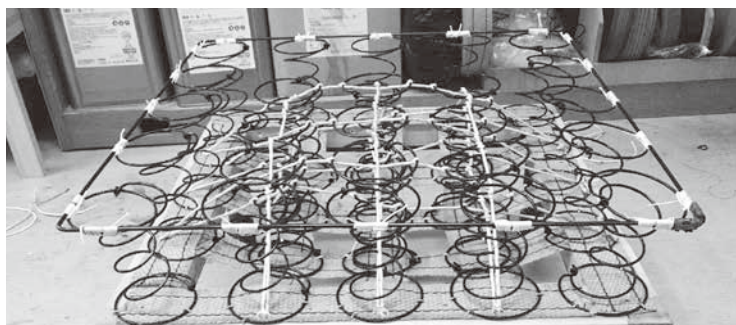
が触れる場所の製作を担当する技能です。

工芸高校在学中は、室内工芸科に在籍し、入学当時の実習では毎日、鉋の刃研ぎをしていました。現在、改めて刃研ぎの重要さを感じています。椅子張りの実習は座面の張り加工をしましたが、現在実習の講師をする中で、在学中に行った作業を最も大切な基本作業として教えている自分があります。

当時感じなかったことや、何気なく単位を取る目的で過ぎてしまったひとつひとつを、現在大切に捉え、生かしながら製作物に向き合っています。



椅子張り作業中の小林さん（馬毛を使用しクッションを調整）



「2021卒展」 オンライン作品展示

毎年、東京都美術館で開催されてきた都立工芸高校「卒展」は新型コロナウイルス感染症防止のため、残念ながら今年も中止となりました。しかし今回は3年生の作品がオンラインで発信されています。3年間の集大成である作品をどうぞオンラインでご覧ください。



小林さんの椅子張り作品



小林さんの椅子張り作品

木工藝 須田賢司と五人の作家展 (昭和48・F卒)

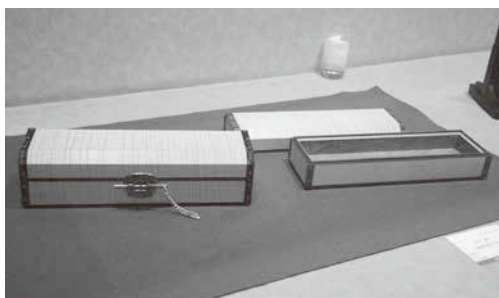
2020年10月21日～27日、日本橋三越本店本館6階美術工芸サロンにおいて「木工藝 須田賢司と五人の作家展」が開催されました。

同展は2年ぶり2度目の開催で、工芸展に出品した作品から普段使いのできるような作品まで、須田さんと5人の作家の素晴らしい作品が展覧されました。

展覧の企画には興味深い競作もあり、前回の競作テーマは『文鎮』でしたが今回は『掌中の小箱』として六人六様の小箱が並びました。

須田賢司さんは展覧会の「ごあいさつ」で木工藝と6人の仲間と、展覧会の企画主旨について次のように語っておられます。

「木工藝には木を素材とした工藝として長い歴史と伝統があります。しか



しあまりにも身近なゆえか他の工芸諸分野に比してあまり注目されてこなかったように思います。作家も、また展覧会も少ないため、工芸愛好家の目に触れる機会がなかなかありません。また若手木工藝作家にとって研鑽を積む

場所も機会も限られている現状は残念なことです。

そこで私が重要無形文化財保持者に認定されたことをきっかけに自宅工房を広げ研修の場を確保し、この若手・中堅木工藝家5人に呼びかけ研究会を始めました。それから早3年が経ち今年の第67回日本伝統工芸展でこの研究会から2名の優秀賞受賞者を輩出したことは大きな成果です。

D科卒業生による有志展【20展】

2017年度D科卒業生による有志展【20展】が1月22日～24日に渋谷にて開催されました。彼・彼女らの担任、森中先生が、その前に受け持っていた【兄弟クラス】の方々が20歳になった年に八千美術大学（ハタチ展）を開催。その文化を引き継ぐ形で開催されたとのこと。兄弟クラスという発想が面白く、長期着任される先生が多い工芸ならではの。



私たちは木工藝作家としてお互いの研鑽を目的に集まった仲間です。その研究の成果を発表し多くの方に木工藝の魅力を知っていただきたく、この展覧会を企画しました。

もとより現代の工藝は表現活動の一つには違いないのですが、あえて今回は生活の中で実際にお使いいただき、人生をより豊かにする木工藝作品を中心に展覧いたします。」

△コンセプト▽

人間の体感時間は加齢によって短くなるというジャーネーの法則。そこから導ける「20歳人生体感時間折り返し」説。けれど、体感時間は自分自身の意識や経験値の問題と考える。

20展を開催した私たちと来場者の方々が20展を通して、今後誰よりも豊かな経験をして体感時間を増やし、体感時間折り返しの説を打ち破るきっかけとなる展示。それがコンセプト。

【あと半分? いや、もっと。】



母校だより

「おおしま国際手づくり絵本コンクール2020ジュニアの部」

●デザイン科3年の伊藤了輔さんが最優秀賞を受賞

富山県射水市絵本文化振興財団主催「おおしま国際手づくり絵本コンクール2020ジュニアの部」(朝日新聞富山総局など後援)で15都道府県から481点の応募作品の中から、D科3年生の伊藤了輔さんの『きみだけの世界を』が最優秀賞・文部科学大臣賞に輝きました。

伊藤さんは、「物語りを書いたり、絵を描いたりすることが好きで、作品に手応えはありましたが受賞にはびっくりしました」と語りました。



また、次の5名の3年デザイン科の生徒の作品が受賞しました。

●銀賞・射水市絵本文化振興財団賞

『ことばがまごった』辻 芽依さん

●奨励賞・北陸中日新聞社賞

『ダーシーちゃんとおひるのカム』

●入選

佐藤美香子さん

『まこちゃんのおすし屋さん』

今子千尋さん

『こわがりおばけの大作戦』

長田春美さん

『オリベリの庭』

宮田ちゆらさん

「おおしま国際手づくり絵本コンクール2020」に寄せて

デザイン科 降矢 保楠

富山県の射水市絵本文化振興財団主



左から、今子さん、佐藤さん、伊藤さん、辻さん、宮田さん

催で毎年行われている「おおしま国際手づくり絵本コンクール 2020」に、今年もデザイン科の生徒が6名入賞しました。このコンクールに挑戦を開始してから今年で6年目になります。が、最優秀賞・文部科学大臣賞の受賞を頂けたのは応募始まって以来の快挙となります。

3学年の選択科目「編集デザイン」では、雑誌など本全般におけるレイアウトデザインの基本力を習得するため元々既成の物語を使って絵本の制作を行ってきましたが、こちらのコンクールの存在をきっかけに、完全オリジナル絵本の制作という挑戦が始まりました。

制作期間は4月から8月末までの約4か月で、ストーリー作りに始まり、原稿作成、挿絵、レイアウト、そして手製本に至るまでを一人で行います。今年度は、定員オーバーの受講数にして、いつもの倍の人数が応募を希望しました。デザイン科のスケジュールを考えると、この課題はお互いに相当の覚悟を伴います。加えて、コロナ禍による2か月間の自宅学習(休校)という厳しい状況下でもあり、教科担当としては生徒たちの意気込みを頼もしく思う反面、果たして応募に間に合わせられるのか正直とても不安でした。

まずは休校真っ只中の5月GW明け、本校に応募者12名全員からの第一稿が届きました。そして、これからが本当の戦いとなるのです。

12名全員が受験生です。進路と卒制を抱えながらの制作は本当に大変だったと思います。原稿だけでも全員が3〜4回は再提出という葛藤を繰り返して、その間に作画を行いレイアウト、そしてまた修正という地道な作業が夏休み中もひたすら続きました。

短い夏休みが明け、最初の授業で仕上がったばかりの絵本を手に取り互いに読み合いました。友達作品にやっと初めて触れることができて、中には感動して涙を流しながら読む生徒もありました。それから一冊一冊心を込めて段ボールに梱包し、全員で宅配便の



5月の自肅中に送られた12名の初稿

事務所に向かいました。生徒たちは大きな達成感と誇らしげな笑顔で溢れていました。

そしていよいよ結果発表。11月の初め、それが丁度授業日と当たっていたこともあり、絵本館のホームページを一斉に見たときのあの緊張感と、涙無しでは語れない程の盛り上がりはこの先も忘れられません。

11月21日、上位入賞者2名のご招待を含む射水市絵本館での表彰式に、今年に入賞した6名の生徒たちと出席しました。審査委員の方々からはそれぞれに丁寧なご講評を頂けたり、生徒のご親戚が遠くから駆けつけて下さったり、そして何よりもこのようなご時世にも関わらずコンクールを開催して下さい、東京からのこの大人数を温かく迎えて下さった絵本館の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。生徒たちの未来に必ず支えと成るであろう本物の自信、それを得たことに自覚があるのか無いのか始終笑っぱなしの無邪気な姿に、私自身が癒され、また教師としての本物の喜びを見出すことができました。

今回惜しくも賞を逃してしまった生徒たちもそれぞれの視点と斬り口を以て、深い想いとメッセージを作品に込めました。編み班全員、本当によく頑張りました。素晴らしい授業に携われたことに心より感謝すると共に、今後とも挑戦を続けていきたいと思えます。

母校だより

全日制

ART CRAFT

- 第14回糸魚川翡翠 ジュエリー・ア
クセサリー デザイン画コンテスト
法人会会長賞 3年 大倉千宙
- 第16回「家やまの絵本」コンクール
都市再生機構理事長賞
2年 富樫知優

- 国際コインデザインコンペティション2020
審査員特別賞 2年 山田乃々花

- ガス溶接技能講習 2年 26名合格
- 色彩検定 2級 2年 3名合格
3級 2年 5名合格

実用英語技能検定

- 準2級 2年 1名合格

- 基礎製図検定 2年 13名合格
1年 26名合格

MACHINE CRAFT

- 全国製図コンクール
優秀賞（最優秀賞候補）
2年 徳山実佳子

- 優秀賞 2年 出口緑都 濱田彩佳
佳作 2年 眞田紅 住吉南海
吉守七彩

- ジュニアマイスターゴールド
3年 篠田幹太郎 山本萌衣

- ジュニアマイスターシルバー
3年 高橋夏々海

- 2年 菊地原成 徳山実佳子
出口緑都

- ジュニアマイスターブロンズ
2年 遠藤光月

コンクール等の入賞者・成績

危険物取扱者乙種第1類

- 危険物取扱者乙種第2類 4名合格
1名合格
- 危険物取扱者乙種第3類 1名合格
- 危険物取扱者乙種第4類 1名合格
- 危険物取扱者乙種第5類 26名合格
- 危険物取扱者乙種第6類 16名合格
- 危険物取扱者乙種第7類 12名合格

計算技術検定 1級合格

- 2年 遠藤光月 菊地原成
徳山実佳子 出口緑都

基礎製図検定 1年 26名合格

- 3級合格 1年 36名合格

機械製図検定 3年 10名合格

- ガス溶接技能講習修了証
2年 27名

アーク溶接特別教育修了証

- 3年 13名

色彩検定 2級 2年 2名合格

- 3級 1年 29名合格

第14回ものデザインコンテスト

- クラフト部門
優良賞 2年 黒田楓乃子
甲川輝流 長谷川奏

インテリアデザイン部門

- 最優秀賞 2年 齋藤想
- 優秀賞 3年 宮田紗和
- 優良賞 2年 甲川輝流
- 3年 宮崎祐希

- 奨励賞 2年 島川樹汰

基礎製図検定

- 1・2学年 42名合格

第43回 福祉住環境コーディネーター検定試験 3年 11名合格

- 色彩検定
2級 2・3年 6名合格
3級 2年 8名合格
UC級 3年 1名合格

GRAPHIC ARTS

- 警視庁主催「少年の非行防止啓発ポスター」高校生の部
「ネット・SNSを介した犯罪への関与防止」
最優秀賞 2年 田島ひなの
優秀賞 2年 小林賢司

コンタクトのアイシティ主催

- 「エコプロジェクトキャラクターコンテスト」優秀賞 2年 富田楓

公益財団法人8020推進財団主催「8020運動ポスターコンテスト」

- 最優秀賞 3年 平出龍ジュリア
優秀賞 3年 石橋史果
中出こゆき

入選 3年 生田目智輝 市村莉子

- 川の写真コンクール
銀賞 3年 芹澤芽生
銅賞 2年 照澤優菜
佳作 2年 鈴木小晴

文京区高齢者クラブ

- いきいきシニアの集いポスター
採用 2年 鶴岡稀妃
優秀賞 2年 鈴木小晴 小川実月

母校だより

全日制

DESIGN

●「おしま国際手づくり絵本コンクール2020」ジュニアの部
最優秀賞・「文部科学大臣賞」
3年 伊藤了輔
銀賞・「射水市絵本文化振興財団賞」
3年 辻芽依

「北陸中日新聞賞」

3年 佐藤美香子
入選 3年 今子千尋 長田春美
宮田ちゆら

●「令和2年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール」

東京都優秀賞 1年 谷口満菜
東京都入選 1年 生島諒子
土田百都花 服部心優
文京区優秀賞

1年 荒一翔 角田春和 金子涼見
飯屋園波音 小西舞緒 庄司伊織
谷口満菜 土田百都花 野村佳央
服部心優
文京区佳作 1年 松川日和

●「令和3年度版 都立高校に入学を希望する皆さんへ」採用

表紙採用 2年 佐々木詩帆
イラスト採用 2年 白石ももこ
「翔 第30集（令和2年度）」採用
表紙採用 2年 飯塚雪乃

●令和2年度「文部科学省後援レタリング技能検定」

3級合格 2年 23名
●パナソニック LUMIX AWARD 2020

フォト&ムービーコンテスト

「総合最優秀賞」 1年 戸川晴馬
作品名『Fight with people all over the world』

定時制

ART CRAFT

●第33回基礎製図検定合格

3年 曾我彩音 武田瑞稀
田丸真帆 森田実穂

4年 佐藤天音 桃野力
●第40回パソコン利用技術検定3級合格

3年 梅沢尚史
2年 池田李空 伊藤千寛 中ホシ
前島亜衣 吉田日向子

1年 金子実柚希 竹内南美
八巻珠月 山口莉央

MACHINE CRAFT

●アーク溶接特別教育修了

2年 菊池昌知
3年 山本舜
4年 伊藤颯馬

●第33回基礎製図検定合格

2年 尾崎桜子 長田裕樹
柿沢圭吾 倉部結子 関谷蓮
半田榛
●ガス溶接技能講習修了

3年 石井はるあ 佐藤千尋
田中悠斗 余田悠真

INTERIOR

●第14回 高校生モノデザインコンテスト
クラフト部門
優秀賞 4年 宮崎夏碧

コンクール等の入賞者・成績

デザイン部門

優良賞 4年 小山珠々
優秀賞 4年 古見廣太郎
奨励賞 4年 滝沢茉奈

●第14回 高校生対象コンペティション

優秀賞 4年 滝沢茉奈 渡邊麗楠
奨励賞 4年 岡田愛海 笠木涼

GRAPHIC ARTS

●令和2年度「歯・口の健康に関する

図画・ポスターコンクール」入賞
東京都 高等学校 ポスターの部

1位 3年 岩坪ひかり
2位 3年 重盛菜桜
3位 3年 下嶋隆史

●令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

東京都入選

1年 中島寿珠
文京区 優秀賞 1年 近藤夏芽
常多愛美 福木誠 荒川瑛莉菜
文京区 佳作 1年 小林朋愛
平岡布由 元嶋日和子

●第25回 グラフィックデザイン検定2級合格

2年 青木紅緒 井口舞 佐藤悠弥
西山佳凜 松石桃佳
3級合格

1年 荒川瑛莉菜 梅田華月
萩原みなみ 近藤夏芽 齊藤楓子
沢田日菜子 鈴木俊介 高橋幸花
田口舞夏 常多愛美 問田るな
中島寿珠 中鉢望愛 平岡布由

福木誠 福崎凜 藤本匠 宮奈波海

吉田敦哉 吉田紗月

◎バドミントン部

第58回 東京都高等学校定時制通信制総合体育大会・バドミントン大会
女子シングルス I部

第4位 4年・A科 狐塚真生
男子シングルス II部 Aブロック
優勝 4年・A科 小林大悟

男子シングルス II部 Bブロック
第3位 3年・I科 山田冬威

◎剣道部

令和2年度 東京都高等学校体育連盟定時制通信制大会

第57回総合体育大会 剣道競技
女子個人戦 準優勝
2年・A科 田中優楽

◎水泳部

第58回東京都高等学校定時制通信制総合体育大会
兼第73回東京都高等学校総合体育連盟定時制通信制水泳部水泳競技大会
2年・A科 池田李空
男子50m背泳ぎ 3位
男子50m平泳ぎ 1位
男子50m自由形 3位
1年・A科 竹内南美
女子25m平泳ぎ 3位

◎文藝部

第24回 創作童話コンクール（町田市子ども生活部児童青少年課主催）
3年・I科 岡田愛海
高等学校の部 市長賞